

2022年度 学校自己評価・点検

教育目標

つよく・あかるく・かしこい子の育成

- つよく … しっかりとした心と強い身体を持った子
- あかるく … 豊かな情操を持ち快活でおもいやりのある子
- かしこい子 … 物事のけじめがわかり主体的に行動できる子

重点目標

モノを大切にする

重点目標の達成評価

【A：達成されている B：ほぼ達成されている C：あまり達成されていない D：達成されていない】

	結果	理由
満3	B	<ul style="list-style-type: none"> ・最初のうちは、片付けの時におもちゃを投げてしまう子がいたが、その都度「投げたらこわれちゃうよ。」と声をかけてきた。その後、それに気付いて子ども同士で伝え合うようになり、おもちゃを大切にする姿が見られるようになった。 ・はっぱやどんぐりなどの自然物も拾ってすぐ捨てるのではなく、その都度しまって、次のあそびに繋げられるように声をかけてきた。 ・伝えないと伝わらないので、正しいことはしっかりと伝えることを意識してきた。 ・月齢差があるので、共通理解ができるようになったのが後半だった。
年少	B	<p>言葉・自然・からだ・友達においては達成されていた。</p> <p>物に対して、振り回したり投げたり、出しっ放しになっていることもあり、引き続きの課題である。</p>
年中	B	<p>言葉や自然、人間関係など意識し達成できたところは多いが、廃品素材の使い方や、制作で使うセロテープの長さ使い方など、一人ひとりの意識が薄いところがあった。また、運動する楽しさ、身体を使う視点では十分達成できたが、身体の仕組みについてもっと興味を持てるような取り組みをすればよかった。</p>
年長	A	<p>V期に渡って言葉・自然・身体・モノ・ヒトと月毎に目標を立ててきたが、一年間を通して全てのモノに対して感謝の気持ちを持って、目標が達成出来たと思う。</p>

2022年度 学校自己評価・点検

学年目標の達成評価

【A：達成されている B：ほぼ達成されている C：あまり達成されていない D：達成されていない】

	評価項目	結果	理由
満3	援助を受けながら基本的な生活習慣を身につける	A	日々の生活の中で繰り返し援助することで、誉めたり意欲的に取り組めるよう声をかけてきた。できたことを認めていくことで、次への意欲に繋がるよう、言葉だけではなく、絵本なども活用し援助を行った。その結果、身支度や手洗い、トイレなどの基本的な生活習慣は身についた。
	保育者との信頼関係を深め、好きな遊びを楽しむ	A	日々の遊びを中心にに関わり、子どもの興味・関心を知ることで信頼関係を深めてきた。遊びも飽きないで続けられるよう、次の遊びへの切り替え時に意欲的に楽しんで取り組めるよう声をかけ工夫してきた。また同時にみんなで同じことをすることの楽しさを伝えてきた。入園当初はゆったりとした環境の中で、じっくり遊びこめるような時間配分を意識したことで、自分の好きな遊びも楽しむことができた。個々に対応し、関わりを深めていったことで、保育者との信頼関係も深まり、自分の気持ちを伝えられるようになった。
年少	園生活や基本的な生活の仕方が分かる	A	身の回りのこと、支度など、自分で行なえた。活動に意欲的に取り組めた。
	心のやすらぎをもって行動する	A	保育者や友達に親しみを持ったり、好きなあそびを見つけたりし、安心感を持って過ごしていた。1日の流れや片付け時間など、絵パネルを使用したことで、見通しを持って生活できた。
	友達や先生と遊ぶ楽しさや喜びを得る	A	好きなあそびを通して、友達との関わりが増えた。また、言葉でのやり取りの心地良さを味わいながら、一緒にあそびを進めていく姿が見られた。
年中	園生活に必要な基本的な生活習慣やきまりを身につける	A	手洗いうがい、挨拶、着替など、基本的な生活習慣を自ら進んで行っている。また、並び順など声をかけながら決まりを守っている。
	信頼感をもって自主的に行動する	A	怪我の報告やトラブル、困っていることなど、自分で考え保育者に報告したり友達に声をかけ自主的に行動していた。
	友達との遊びや体験を楽しんで広げていく	A	メロディオン、鉄棒、縄跳び鬼ごっこなど、様々な遊びを楽しんだ。初めは興味がなかった子どもも友達を見て一緒に遊ぶようになったり、友達を通して経験を広げられた。
年長	園生活に見通しをもって行動し、自らよりよい生活を営もうとする	A	一週間のカリキュラム・一日の流れの絵カードの掲示や、時計の表示方法を変えたことで、子ども達自身、先をしっかりと見通し、自ら次の活動の準備を行っていた。
	自然や社会生活と関わり、感謝の念や規範意識を持って行動する	A	クラス目標をみんなで考え決めたことで、達成に向けてみんなで守ろうという気持ちが強くなっていた。また、今年のはたけのこの観察画だったり、自然物と関わったり、小学校との交流会を多く行なえた。
	自己を発揮し、友達との関わりを深めていく	A	自分の考えや意見を相手に伝え合いながら、遊びを発展させていった。一年を通して継続して遊び込むことが多かった。
	主体的に様々な環境に関わり、考え工夫し表現する	A	自分達で考え、あそびを発展していく姿が多くあった。その中で友達と協力したり、自分達で環境を整えていく姿もあった。

2022年度 学校自己評価・点検

今後取り組むべき課題

	課題	具体的な取り組み方法
満3	月齢差や入園月が違う中で、みんなで一つのものをどう楽しむか。また、共通理解ができるのが後半になってしまう。	毎日の繰り返しの中で、わかっている子が飽きないような工夫が必要。個々に合わせて対応する保育者と、全体をまとめて進行していく保育者との役割分担を決め、保育を行う必要がある。
年少	生活習慣の進め方	タオルあそび、うがいの開始時期ややり方など、満3歳児クラス・プレスクールとの引継ぎ・連携をしっかりと行っていくこと。
	物を大切に使う	買ってくれる人、作ってくれる人がいることなどを繰り返し話し、感謝の気持ちを抱けるようにする。モノの気持ちを考えられるよう、掲示物など活用していく。
	栽培過程	自分達の栽培を活かし、さつま芋掘りなどでも、育ててくれた畑の方へ、より感謝の気持ちを持てるようにする
年中	どんな仕事にも最後まで取り組む	当番活動の内容を見直し、子ども達が無理なく出来るようにする。また、時間の確保が出来るものにする。
	トラブルになったとき、言葉で伝えあう力を身に付ける。	友達との関わりの中で自分の思うようにいかなかった時に、どんな言葉を使って伝えていくのか考えられるようにする。クラスで考えたことは「見える」化し、同じような事があった時にそれをみて振り返られるようにする。
	身体を思い切り動かし身体の使い方を知る	遊びやカリキュラムのなかで意図的に「走る」「スキップ」「ジャンプ」などの全身を使った活動を取り入れ、身体能力の向上を目指す。
年長	言葉	文章の組み立てがわかるポスターを掲示して、子ども達がわかりやすく文章を組み立て、発言出来るようにする。
	身だしなみ	朝の会・帰りの会の時にチェック当番が身だしなみをチェックして自分達で直せるようにする。
	自然物を使ったあそび	緑の丘にある物でどんな物が作れるか、素材研究をして子ども達とつくっていく。

2022年度 学校自己評価・点検

教育水準向上の取り組み

種類	具体的な内容	自己評価・点検
<p>幼児教育の内容・方法の改善として</p>	<p>音楽講師による定期的な音楽指導を行い、鍵盤ハーモニカや鈴、カスタネットといった子ども用楽器の他、子供用ではない楽器に触れたり音楽に親しむ教育を実施。 運動会で年長組は鼓笛隊演奏、年少組はリトミックを取り入れた演目を行う。 音楽会では、大きなホールを借りて、リズムあそびや合奏を行う。</p>	<p>継続して音楽講師に来ていただいております、年度の変り目でも途切れることなく、3年間のカリキュラムを通して質の高い音楽教育を行っていると感じている。 特に今年度は、各学年の子どもたちの特性に合わせたカリキュラムや、曲選択・練習方法に挑戦し次年度につながる経験となった。</p> <p>音楽会は今年度も中央公民館で行い、本物の舞台・本物の音響・本物の照明・本物の客席の中で存分に表現することができた。</p>
<p>幼児教育の内容・方法の改善として</p>	<p>グラウンドの他、天然芝生や起伏のある丘や雑木林といった多様なエリアを活用し、子供たちが運動や遊びを通して、体力を身に付けていくという教育活動を実施。</p>	<p>各学年、それぞれ専用の場所を確保し、野菜の栽培や植物の観察を種植えから行ったことで、食育・植物への興味関心が特に高くなったと感じた。 (年少はミニトマトとちゅうりっぷ、年中はひまわり、年長はジャガイモ)</p> <p>外遊びは、昨年度に引き続き、皆が総合遊具や芝生、みどりの丘といった複数のエリアに親しめるよう意識し、体育のカリキュラムへの組み込みを講師と相談するなどの実践をした。 芝生エリアについても、昨年から引き続き大切にすする気持ちを育めるよう、丁寧な指導やロープによる区分け意識付け等をした結果、例年夏の時期に荒れてしまう状況から早めの回復となった。</p>

2022年度 学校自己評価・点検

学校関係者評価

- ・重点目標に対してどのような具体的な活動をしていたのか知りたい。
→ (園職員コメント)
昨年から引き続き、活動の内容をHPに積極的に掲載するようにはしていたが、重点目標や学年目標に対しての取り組み、という視点で書いていないので、その部分を来年度は改善していきたい。
学年だより・クラスだよりではより具体的な活動内容や、成長につながったと感じる点の記載があるので、他クラス・他学年にも見てもらえるような仕組みも検討していきたい。
- ・行事アンケートから、コロナ禍においても、活動が途切れないよう工夫して行っていることが評価されていることは素晴らしいと感じた。
また、感染対策についても納得・評価してもらえている様子も知ることができた。
- ・「今後取り組むべき課題」が具体的な取り組みまで検討されている点は評価できる。
実際はどのように引き継がれていくのか知りたい。
→ (園職員コメント)
年度の振り返りは職員会議で全員で共有している。
また、年度末・年度初めに、各学年ごとに新旧メンバーで引継ぎ会をして、「今後取り組むべき課題」だけでなく年間活動のフィードバックを通して新年度の活動内容につなげている。
- ・教育水準向上の取り組みについては、またアンケートから保護者の方も高く評価している様子が見て取れ、今後の継続にも期待している。
また、子どもの体力が落ちているという報道を見たが、自然豊かで広い園庭を有する環境を活かし、快活に遊べる子に成長するよう、今後も取り組み続けてほしい。

実施日：2023/3/31